

デフリンピック遠征日記

日本ろう者テニス協会コーチ内藤が、遠征先であった出来事を書いていきます。
日本ろう者テニス協会の公式文書は
尾形さんが書いていきますので、肩苦しくない適当な文章になる事をご了承下さい。

8月3日(日) Part 12 試合偵察

今日はシングルの決勝戦と3位決定戦。そして、ミックスダブルスも行われました。
昨日の反省も含めて今日出来るか？楽しみです。

■女子シングル

決勝

HO CHIU-MEI (TPE)

13

66

ALBRECHT HEIKE (GER)

常にalbrecht選手がho選手を圧倒した形となりました。

一番の違いはフットワーク。

止まってるショットは互角なのですが、動きが入って振り回された時のショットの勢い・コントロールが全く違いました。少し動かされただけでゆっくり返してしまうho選手に対して積極的にカウンターを当ててくるalbrecht選手。動かされた時にバランスを崩してコントロールが悪くなってしまうho選手に対してコントロールが悪くならないalbrecht選手。これらは動かされた時の体のバランスを保つフットワークから来ているでしょうし、動かされた後の戻るフットワークから来ているものです。

一番のポイントは股関節。

柔らかい股関節だと歩幅が大きくなり重心が高くなり安定するのでバランスを崩しにくい。

堅い股関節だと歩幅が小さくなり重心が上がり不安定になるのです。

3位決定戦

BERNARD SOPHIE (FRA)

4

0 ret

FLETCHER CHERINE (GBR)

肩を痛めているfletcher選手サーブもアンダーサーブで痛々しくプレーをしています。

いくら頭脳派とはいえ、持っているショットの駒が通用しないレベルでは勝ち目がありません。

残念ながらリタイヤとなりました。

